

第5期岐阜県障がい者総合支援プランの策定に向けた  
障がい者児のニーズ調査の結果について

○障がい児の将来の生活に関する正確なニーズを把握し、第5期岐阜県障がい者総合支援プランにおける施設入所者数の設定等の見通しを立てるため、全県的な規模でのアンケート調査を実施した。

## 1 障がい者に対する調査

障がい者との意思疎通に精通した相談支援専門員等や障害者支援施設の職員による聴取による、障がい者の生の声を直接聴く調査を実施。

- ・対象者:障害福祉サービスの利用のために相談支援を利用している障がい者
- ・期間:令和7年7月～10月
- ・調査人数:4,379名

## 2 障がい児に対する調査

特別支援学校に通う障がい児の保護者に対してアンケート調査を実施。

- ・対象者:特別支援学校児童・生徒の保護者
- ・期間:令和7年9月～11月
- ・実施方法:特別支援学校を通じて依頼文書を配布し、オンラインにて回答
- ・調査人数:1,090名（回答率38.8%）

# 障がい者に対する調査結果の概要

## ◆調査対象者の概要

### ◎住所地

合計	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	その他
4,379	1,641	340	837	841	712	8

### ◎障害支援区分・障がい種別

障害支援区分ごと			障がい種別ごと重複あり				
区分なし ・不明	区分 1～3	区分 4～6	身体 障がい	知的 障がい	精神 障がい	発達 障がい	その他
1,366	990	2,023	937	2,577	1,233	262	167

### ◎現在の住まい

自宅 家族と同居	自宅 一人暮らし	グループホーム	障害者支援施設	その他
2,049	478	559	1,217	76

◎利用している障害福祉サービス

居宅介護	重度訪問	同行援護	行動援護	療養介護	生活介護	短期入所
598	20	52	36	3	1,786	563

重度包括	自立訓練	自立生活	共同生活	就労移行	A型	B型
4	88	8	575	71	597	1,450

就労定着	介護保険	その他	利用なし
35	94	6	6

【今の生活について】

◎ 全体では、半数程度の方が「満足している」と回答。

◆今の生活について

項目	全体	自宅 家族同居	自宅 一人暮らし	グループホーム	障害者支援施設	その他
満足している	47.7%	47.0%	34.1%	53.8%	51.6%	43.4%
どちらでもない	29.8%	33.1%	40.2%	29.5%	20.3%	27.6%
不満である	12.2%	12.3%	18.0%	11.1%	10.3%	11.8%
わからない	10.1%	7.5%	7.7%	5.5%	16.9%	17.1%
不明	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%

- グループホームや障害者支援施設に入居している方は、いずれも約5割の方が「満足している」と回答。
- 自宅で暮らしている方は、「どちらでもない」との回答の割合が他と比べて高い。
- 障害者支援施設に入居している方は、「わからない」と回答の割合が高い。

【今後3年間の暮らしの希望】

◎ 全体では、半数程度の方が「家族と一緒に暮らす」と回答。

◆今後3年間の暮らしの希望について

項目	全体	自宅 家族	自宅 ひとり暮らし	グループホーム	障害者支援施設	その他
ひとりで暮らす	15.8%	8.6%	80.5%	14.0%	3.0%	23.7%
家族と暮らす	45.8%	80.3%	7.5%	12.3%	20.0%	17.1%
GHで暮らす	13.7%	5.3%	4.0%	68.5%	6.4%	13.2%
施設で暮らす	19.2%	0.9%	1.3%	1.3%	65.7%	14.5%
その他	5.1%	4.8%	6.7%	3.9%	3.9%	31.6%
不明	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%

- 現状維持を希望する回答の割合が高い。  
特に自宅で暮らしている方は、約8割の方が「現状維持」を回答。
- 障害者支援施設に入居している方は、約2割の方が、「家族と暮らす」を回答。

【今後必要な支援について】 ※複数回答可

◎ 全体では、「いつでも気軽に相談できる」が必要と回答した方が最も多い。

◆生活に必要な支援

項目	全体	区分なし 非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
いつでも相談できる場所や人	63.9%	73.0%	76.7%	72.2%	71.4%	67.2%	53.4%	47.6%	37.5%
ひとり暮らしの体験や練習	14.9%	17.9%	20.0%	14.7%	15.7%	19.9%	13.4%	8.4%	0.0%
緊急時に受け入れてくれるところ	27.0%	21.3%	31.7%	28.8%	32.8%	35.5%	28.0%	26.1%	25.0%
グループホーム	20.8%	12.4%	30.0%	28.0%	34.2%	37.8%	21.4%	13.1%	6.3%
入所施設	23.6%	2.7%	3.3%	5.4%	7.3%	18.6%	42.8%	62.6%	43.8%
居宅介護等の訪問支援	17.9%	11.0%	35.0%	37.4%	27.9%	19.7%	14.5%	13.1%	12.5%
通所の生活介護	14.1%	3.2%	0.0%	5.0%	15.7%	30.0%	24.8%	19.9%	0.0%
通所の就労系事業所	37.5%	66.2%	55.0%	52.1%	48.9%	33.4%	10.6%	1.9%	0.0%
移動支援の事業所	29.0%	15.3%	28.3%	26.0%	30.9%	41.2%	40.5%	35.8%	18.8%
その他	1.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.6%	3.5%	3.8%	12.5%

- 「いつでも相談できる場所や人」 :どの区分でも、必要との回答の割合が高い。
- 「緊急時に受け入れてくれるところ」 :どの区分でも、必要との回答の割合が高い。
- 「グループホーム」 :区分1～4の方は、必要との回答の割合が高い。
- 「入所施設」 :区分5、6の方は、必要との回答の割合が高い。
- 「通所の就労系事業所」 :軽度、中度の方は、必要との回答の割合が高く、重度の方は、必要との回答の割合は低い。

## ◆調査対象者の概要

## ●学年別

全体	幼稚部	小学部	中学部	高等部
1,090人	2人	452人	216人	420人

## ●障がい種別 重複あり

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい
250人	1,053人	41人	385人

【今の生活について】

- ◎ 全体では、「満足している」と回答した方は、約3割。
- ◎ 各学部幼稚部除く。を通じて、傾向はほぼ同じである。
- ◎ 「身体障がい」、「知的障がい」、「発達障がい」についても、傾向はほぼ同じである。

◆今の生活について

	全体	学年別				障がい種別重複あり			
		幼稚部	小学部	中学部	高等部	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい
満足している	30%	—	28%	27%	34%	25%	30%	24%	25%
不満である	14%	—	14%	20%	11%	17%	14%	10%	19%
満足でも不満でもない	33%	100%	29%	33%	36%	30%	33%	44%	32%
わからない	23%	—	29%	20%	19%	28%	23%	22%	25%

※端数処理のため、合計が100%とならない場合がある。

- 「満足でも不満でもない」のとの回答の割合が一番高く、次に「満足している」との回答の割合が高くなっている。
- 小学部、中学部、高等部とも、「満足」約3割、「不満」約1割、「満足でも不満でもない」約4割、「わからない」約2割である。
- 「精神障がい」は、他の障がいと比べて「満足でも不満でもない」のとの回答の割合が高い。

【今後の生活の場について】 ※複数回答可

◎ 将来「自宅」を生活の場と考えている方は、卒業時と比べて大幅に減。

◎ 将来「グループホーム」や「入所施設」を生活の場と考えている方が、卒業時と比べて大幅に増。

◆今後の生活の場

※「将来」…将来、家族等からの支援を受けられなくなったとき

	全体		身体障がい		知的障がい		発達障がい	
	卒業後	将来	卒業後	将来	卒業後	将来	卒業後	将来
自宅	67%	15%	62%	9%	67%	14%	64%	13%
一人暮らし	4%	7%	1%	2%	4%	7%	4%	8%
親族等の住居	4%	13%	5%	10%	4%	13%	3%	12%
グループホーム	18%	52%	9%	39%	18%	54%	20%	57%
入所施設	11%	41%	12%	66%	10%	40%	11%	38%
考えられない	18%	26%	19%	26%	18%	25%	23%	28%
その他	3%	1%	4%	2%	3%	1%	3%	1%

10%以上の増  
10%以上の減

- 「自宅」 :どの障がいでも、卒業後は約6割の回答であるが、将来は約1割の回答。
- 「親族等の住居」 :どの障がいにおいても、将来生活の場として考えている回答の割合が増。
- 「グループホーム」、「入所施設」 :どの障がいでも、将来生活の場として考えている回答の割合が大幅に増。

【今後必要なサービスについて】 ※複数回答可

◎ どの障害でも「いつでも相談できる場所や人」と回答した割合が高い。

◎ 将来「グループホーム」や「入所施設」が必要と回答された方が、卒業時と比べて大幅に増。

◆生活に必要なサービス

※「将来」…将来、家族等からの支援を受けられなくなったとき

	全体		身体障がい		知的障がい		発達障がい	
	卒業後	将来	卒業後	将来	卒業後	将来	卒業後	将来
いつでも相談できる場所や人	68%	67%	64%	58%	68%	67%	71%	66%
ひとり暮らしの体験や練習	33%	32%	19%	17%	33%	31%	37%	35%
緊急時に受け入れてくれるところ	51%	41%	64%	49%	52%	41%	54%	44%
養護者の休息のための受け入れ	43%	27%	59%	34%	44%	28%	45%	30%
グループホーム	41%	56%	34%	44%	42%	57%	45%	59%
入所施設	41%	60%	49%	75%	42%	61%	44%	61%
居宅介護等の訪問支援	25%	31%	38%	32%	25%	30%	26%	34%
通所の生活介護	32%	23%	52%	27%	32%	24%	33%	27%
通所の就労系事業所	60%	51%	38%	32%	60%	51%	65%	54%
移動支援の事業所	39%	40%	38%	35%	38%	40%	42%	45%
その他	3%	2%	1%	2%	3%	2%	3%	3%

5%以上の増  
5%以上の減

○ 「いつでも相談できる場所や人」

:どの障がいでも、必要との回答の割合が高い。

○ 「緊急時」「養護者の休憩」のための受入

:どの障がいでも、卒業後において必要との回答の割合が高い。

○ 「グループホーム」、「入所施設」

:どの障がいでも、約5割以上が将来必要と回答。

○ 「通所の就労系事業所」

:知的障がい、発達障がい、5割以上が必要と回答。